

税と私たちの関係は？

この本を手にしたみなさんへ

この本は、主人公の「ぜいむ」さんとともに、私たちの生活と税の関係について考えていくためのものです。「税」にまったく興味がないぜいむさん。彼は、このあとどうなっていくのでしょうか。



主人公の
ぜいむさん



本が大好きな
まなぶさん

ぜいむさんのお友達



しっかり者の
よし子さん

● 目次 ●

- 図書館の本は全部でいくら？ ————— 1
- 図書館の本を買ってくれたのはだれ？ ————— 2
- 税金はどうやって集めているの？ ————— 4
- 私たちの街で税は・・・？ ————— 6
- 税金の使い道はどのように決められるのだろうか？ — 8



図書館の本は全部でいくら？

まなぶさんは学校の図書室に行き、お気に入りの本で歴史の調べ学習をしていました。

でも、人気がある本は借りられていることもよくあり、図書室にないこともあります。そこで、まなぶさんはよいことを思いつきました。

「家に帰って、この本を買ってもらおう」

さっそく、まなぶさんは本の値段を調べました。すると、定価2,400円とありました。あまりの値段の高さに驚き、他の本も調べてみたくなりました。



まなぶさんは、ぜいむさんとよし子さんをさそい、「図書室探偵団」を結成し、図書室にある本の値段を調べることにしました。



すごい金額になりそうだわ！

図書館探偵団 報告書

本の名前	値段
合計	冊 円



※調べたことを表に書き込もう。